



Q. レントゲンは赤ちゃんに悪い影響はありませんか？

A. 歯科で使用するレントゲンは、歯の部分だけを写すもので線量も非常に少なく、防護エプロンをするので赤ちゃんが被爆することはありません。

Q. 治療での麻酔は大丈夫でしょうか？

A. 歯科の麻酔は無痛分娩に使用するものと同じです。局所麻酔なので、赤ちゃんへの影響は心配しなくて大丈夫です。

Q. 治療中にお腹が苦しくなったら？

A. 仰向けで寝ていると、大きな血管を圧迫して、気分が悪くなることがあります。我慢せず、すぐ歯科医師に伝えましょう。

Q. 治療期間中に痛み止めを飲んで大丈夫ですか？

A. 妊娠中に飲んでも大丈夫なお薬を処方します。

Q. むし歯は赤ちゃんにうつると聞いたのですが？

A. そうです。赤ちゃんには生まれた時は、むし歯菌はいません。お父さん、お母さんからうつることがあります。お箸とスプーンは別のものを使いましょう。

最後に

赤ちゃんは親にとってみれば、なにものにも代えがたい宝物であると思います。

この機会に出産前に、お母さん、お父さんのむし歯、歯周病の治療をして、赤ちゃんにうつさない対策をし、楽しく生活がおくれるよう早めの健診をお勧めします。また、赤ちゃんに歯が生え始めてきたなら、必ず歯磨きをしてあげましょう。

少なくとも小学校低学年までは、仕上げ磨きをお願い致します。

3~4か月に一度のフッ素塗布を行うとむし歯の予防の効果が、さらに期待できます。歯科医院でのフッ素塗布をお勧め致します。



歯っぴい通信

vol.7

受けていますか？
妊婦歯科健診

妊婦歯科健診のご案内



お問い合わせ

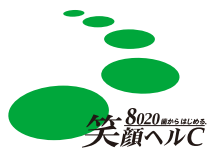
熊本市歯科医師会

HPアドレス <http://kcd8020.com/>

TEL 096-343-6669



熊本市歯科医師会

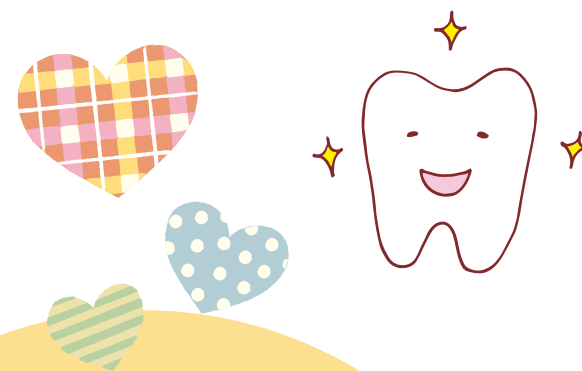


熊本市歯科医師会

一般社団法人 熊本県歯科医師会

どうして妊婦歯科健診は必要なの？

妊娠中は様々な原因で、口腔内の環境は悪くなると言われています。喫煙や飲酒が早産・低体重児出産の原因と考えられていますが、歯周病もまたその一つと位置付けられています。歯周病が進行している妊婦さんは、そうでない妊婦さんより早産・低体重児出産のリスクが、7.5倍高くなることもわかっています。これから生まれてくる赤ちゃんとお母さんのお口を健康に保つことが、健康で楽しく生活するための必要条件と考えています。熊本市歯科医師会では、歯周病やむし歯の早期発見のため妊婦歯科健診を行っております。是非この機会に早めの妊婦歯科健診をお勧め致します。



実施要項

- 1. 対象者** 熊本市在住の妊婦
- 2. 受診回数** 母子手帳の交付を受けてから出産までに1回
- 3. 実施方法** 母子手帳交付と同時に妊婦歯科健康診査受診票を配布します。
- 4. 実施場所** 熊本市歯科医師会会員診療所にて常時実施しています。HP 等でご確認下さい。
- 5. 負担金** 無料
(継続して治療希望の場合は健康保険にて治療可能)